

委員会細則改正案

改正案	現行	改正理由
第9条(開催) 委員会は、委員長が必要と認めたとき又は委員総数の5分の1以上の委員から会議の目的を記載した書面 <u>又は電磁的方法（理事会で別に定める方法をいう。以下同じ。）</u> によって開催の請求があったときに、委員長が書面又は電磁的方法により招集して開催する。	第9条(開催) 委員会は、委員長が必要と認めたとき又は委員総数の5分の1以上の委員から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったときに、委員長が招集して開催する。	委員会の招集方法においても、電磁的方法によることが可能なことを明記する。 <u>ここでいう電磁的方法については、理事会で別途定めるものとした。</u>
第11条(議決等) 3 委員会の議事については、 <u>書面又は電磁的記録の方法（磁気ディスクその他これに準ずる方法により一定の情報を確実に記録しておくことができる物をもって調製するファイルに情報を記録したものをいう。）により</u> 議事録を作成し、委員長及び委員会において選任された議事録確認者1名が内容を確認し保存する。	第11条(議決等) 3 委員会の議事については、議事録を作成し、議長及び委員会において選定された議事録署名人1名の合計2名が記名押印する。	委員会の議事録を、毎回文書にて作成し、署名もしくは記名押印を必要とするのは実務的に煩瑣であるため簡略化した。 <u>ここで用いる電磁的記録の方法は、一般社団財団法人法施行規則第89条の規定を参考にした。</u>

※赤字は第5回理事会における改正案からの変更点

参考

一般社団財団法人法施行規則第89条
 （電磁的記録）

第八十九条 法第十条第二項（法第一百五十二条第三項において準用する場合を含む。）に規定する法務省令で定めるものは、磁気ディスクその他これに準ずる方法により一定の情報を確実に記録しておくことができる物をもって調製するファイルに情報を記録したものとする。